

令和6年度第4回小牧市こども・子育て会議に対する意見及び質問について

資料6

番号	委員名	第4回会議素案 該当ページ	意見及び質問内容	担当課
1	坂委員	P86～P89	勉強不足で申し訳ないのですが、「新制度移行幼稚園」と「新制度未移行幼稚園」があるようですが、「新制度」とは何ですか？	幼児教育・保育課
2	坂委員	P104	利用実績が令和5年度だけぐっと増えていますが、何か理由がありますか？	子育て世代包括支援センター
3	坂委員	P112	利用実績が令和5年度だけぐっと増えていますが、何か理由がありますか？	子育て世代包括支援センター
4	坂委員	P109	一番下の行で「特に依頼会員の確保に努めます」とありますが、内容を考えると「周知活動に努めます」の方が良いのではないかと思いました。依頼会員確保というと、市が利益を求めている感じがするので。	子育て世代包括支援センター
5	小坂委員	P98～P99	「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」の”全市”利用実績推移と量の見込みについて 令和6年度の利用実績1,937人ですが、令和5年と比較して67人増加しています。これは共働きが増えたことによる増加なのか、そうであれば、令和7年の見込みを1,861人に行っているのは何故か。最終的に確保と過不足はプラスのため問題ありませんが、気になったため、別途ご回答をお願いします。	こども政策課
6	松本委員	P72 No.16幼児期・学童期におけるフッ化物歯面塗布・フッ化物洗口の実施	「内容」及び「担当課」について修正・追加をご検討ください。 内容：修正案 フッ化物利用は、歯の再石灰化を促進する効果があることから、幼児期・学童期のおし歯を予防する方策として、保育園・幼稚園・学校等におけるフッ化物洗口を実施し、第一大臼歯の保護育成を図り、家庭間の健康格差の縮小を目指します。 担当課：保健センターに加え、学校教育課や幼児教育・保育課を連名としてはいかがでしょうか。	保健センター

令和6年度第4回小牧市こども・子育て会議に対する意見及び質問について

資料6

番号	委員名	第4回会議素案 該当ページ	意見及び質問内容	担当課
7	河合委員	P20 就労していない・就労した ことがない母親の今後の就 労意向	<p>母親の今後の就労状況アンケート結果の項目No.1 働く予定はないの回答の内、働く事ができない理由はアンケート結果として確認されているでしょうか。</p> <p>企業の中には扶養手当に配偶者を含まない会社もあり、働きたくても働けない配偶者への配慮を望む労働者の声がある一方で、企業からは、そうした支援は企業ではなく行政施策の活用を求める考えも強くあります。</p> <p>今後、労働人口が減少する中、国を支える為にも多様な方が安心して就労できる施策が必要になると考えます。その為にも、働きたくても働けない方の声を反映していくことが重要になると思います。</p>	こども政策課
8	加藤(由)委員	P86～P97	<p>令和7年度以降、保育の量の確保としてかなり大きな数値が出されています。3歳未満児の入所が困難と言われる中部地区においても確保できる量として大きな数値が出されています。</p> <p>近年本市では、国の基準による待機児童数は4月時点で0になっていますが、国の基準には該当しないものの、申し込んだが入園ができないという隠れ待機児童は現在もかなり多くいらっしゃると思います。令和7年度以降の量の確保の数値をみると、多くの子どもの入園が可能になると受け取れます。それにより隠れ待機児童数が減少するのでしょうか。この点については非常に疑問を感じます。</p> <p>量の確保と合わせて考えていかなければならないことが保育の質の向上です。保育士不足が叫ばれている昨今、本市においてもその現状があるのではないかと思います。また、人が配置されていけばよいという問題でもないため、基本目標4と合わせ保育の充実が図られるよう切に願います。</p>	幼児教育・保育課

令和6年度第4回小牧市こども・子育て会議に対する意見及び質問について

資料6

番号	委員名	第4回会議素案 該当ページ	意見及び質問内容	担当課
9	加藤(由)委員	P98	<p>量の確保の内容として大きな数字が出されています。教室の数、広さなど現状の施設から出されているとは思いますが、児童が放課後の時間をゆとりをもって過ごすために問題のない数なのでしょうか。放課後に過ごす児童クラブは、空間的にも精神的にもゆとりのある場であることが児童にとって重要だと思います。</p>	こども政策課
10	長江委員	P38	<p>「保育所の役割」の文言の中（保育所保育指針）に「入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場でなければならない」また、「保育所の社会的責任」には「保育所は、子どもの人権に十分配慮すると共に、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行わなければならない」という一文があります。この考え方は幼稚園や認定こども園についても同様と考えます。これからの保育は子どもの権利条約の精神やその中身をしっかりと理解して進めていくことが求められます。具体的な取組に加えて頂くことは可能でしょうか。ご検討をお願いします。</p>	幼児教育・保育課
11	長江委員	P6, P11	<p>5歳以下の就学前児童数の推移と推計によると、令和11年では、0歳～2歳までのお子さんの数は2,509人となっています。アンケート調査の結果からも言えるように、今後、母親の就労等により低年齢の入園希望者が増えてくることは必至です。待機児童ゼロを目指して保育所の新設、小規模保育事業所の開設などに取り組んでおられる所ですが、令和11年時点で3歳未満児が入所できる定員の総数はどれくらいになりますか。</p>	幼児教育・保育課

令和6年度第4回小牧市こども・子育て会議に対する意見及び質問について

資料6

番号	委員名	第4回会議素案 該当ページ	意見及び質問内容	担当課
12	長江委員	P55, P61	<p>現状と課題に、低年齢児の保育ニーズに対応するため、小規模保育事業所の新設を推進とありますが、取組のところには、特にあげられていません。小規模保育事業所は10年余りで20ヶ所に増えました。特に3歳未満児は心身の基盤が作られる大切な時期です。一人一人の子どもの一瞬一瞬に保育士が丁寧に関わっていくことが求められます。一方、現実問題として保育士不足による不安定な職員配置や関わりが懸念されます。子どもたちの最善の利益の保障からも（3の教育・保育の質の向上に小規模保育事業所も含まれるとしたら）別枠で取組や内容を作って頂けるようにご検討をお願いします。</p>	幼児教育・保育課
13	長江委員	P14 (9) 外国人市民の状況 P82 (5) 外国人など配慮が必要な家庭への支援の充実	<p>日本語指導が必要な児童生徒の推移が年々上がってきていますが、小学校入学前の子どもたちが参加するプレスクールには、現在どれくらいの子どもたちが通っていますか。現状や内容等について教えてください。</p>	多文化共生推進室